



記念メッセージを読み上げた早池峰山愛護少年団(前列)

高山植物の保護と活用考える

ハヤチネウスユキソウ固有種認定80周年でサミット

「つすゆき草サミット」はなまきが7月11・12日の両日、大迫町で開かれ、参加者は講演やパネルディスカッション、早池峰山交遊登山などを通して、高山植物の保護や活用に理解を深めました。パネルディスカッションでは、花巻市長のほか、ウスユキソウに縁のある県外の自治体関係者3人が各地の取り組みを紹介。続いて行われた記念メッセージ発信では、早池峰山愛護少年団(内川目小)の児童が「自然を守り、その恵みを生かし、今日の皆さんの教えと活動を受け継ぐ」と宣誓しました。

市政発展への貢献をたたえる

平成27年度 花巻市感謝状贈呈式

平成27年度花巻市感謝状贈呈式が7月7日、なはんプラザで開かれました。長年にわたって市の発展などに尽くした方々に謝意を表する同式典。市長は「皆さまの活動や寄付により、市民の生活のレベルが上がり、安全が確保された。福祉や地域づくりに今後も協力してほしい」と感謝を伝えました。感謝状が贈られたのは、行政区長や保健推進委員、交通指導員などの市の非常勤特別職の方や、消防施設整備のために用地を寄付した方など54人の皆さんです。



長年にわたり市の発展などに尽力した皆さん

「生活の中にある美」に触れる

観じる民藝展「ギャラリートーク」



花巻ゆかりの展示品の前で解説する尾久さん

市博物館で開催中の特別展「観じる民藝展」の監修者・尾久彰三さんによるギャラリートークが7月20日、同博物館で開かれました。展示されている尾久さん所有の民藝品約350点の中から、花巻ゆかりの民藝品など数点を取り上げ、それぞれにまつわるエピソードを紹介。直観的にモノを見て、その中に美を見つける(観じる)ことについて話しました。参加者は、尾久さんの豊富な知識とユーモアあふれる解説に、感心したり笑ったりしながら熱心に耳を傾けていました。

みんなの力を医療の力に 上手な医療機関のかかり方

「医療」は、私たちの暮らしに欠くことができない重要なものです。しかし、多くの地方都市で、地域の医療体制が維持できなくなることが心配されています。そこにはどんな原因があり、私たちは何ができるのでしょうか。医療機関のかかり方を一緒に考えましょう。

ちよつと待って！
安易な受診していませんか

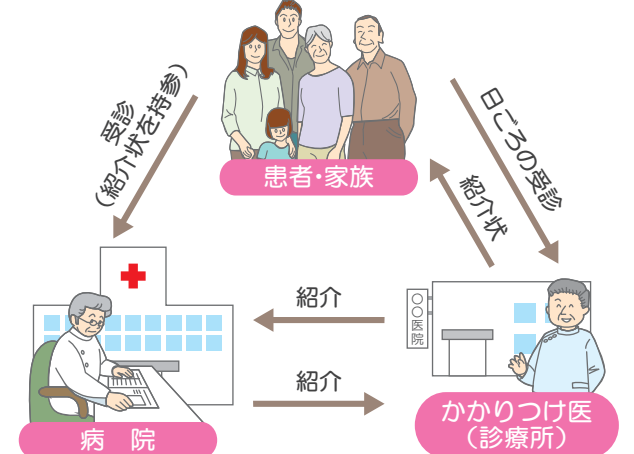
「とりあえず大きな病院に」「昼間は仕事があるから夜に」あなたはこのような理由で、大きな病院や夜間・休日の救急病院を利用していませんか。実はこのような行動に、医療が衰退する可能性が隠されています。例えば、大きな病院や救急病院だけに患者が集中すると、そこで働く医師や看護師の業務が大幅に増大してしまいます。そのような状態が長く続くと、医師や看護師

は疲弊し、やがてその病院からいなくなってしまうかもしれません。安易な受診が、地域の医療体制に大きな影響を及ぼすのです。

私たちにできること①
「かかりつけ医」を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、日常的な診療や健康管理のアドバイスをしてくれる地域の診療所のお医者さんのことをいいます。体の不調やちよつとした症状が気になるときは、まずは、かかりつ

◆病診連携のしくみ



「病診連携」とは、大きな病院と地域のかかりつけ医(診療所)が、役割を分担しながら治療に当たる仕組みです。

私たちにできること②
診療時間内に受診しましょう

夜間や休日の救急病院(救急外来は、万一の救急患者に備えたものであり、少人数の診療体制となっています)。このため、救急外来が混雑すると、入院や救命が必要な重症患者の治療に支障が出る恐れがあります。「空いているから」といった自分勝手な受診はせず、できるだけ診療時間内に受診するようにしましょう。

※急な病气やけがで救急外来を利用する場合は、病院に診察可能かどうか電話で確認してからお出掛けください。緊急の場合は119番へ

上手な医療機関のかかり方を心掛けることは、自分のためだけでなく、地域の医療を守り、支えることにもつながります。自分と大切な家族の命を守るため、今できることから始めましょう。

【問い合わせ】
健康づくり課(☎23・3121)